

第3回 山都中学校及び高郷中学校統合準備委員会 会議録

日 時：令和8年2月17日（火）18：05～20：00

場 所：山都中学校 2階 図書室

進 行	1 開会 ただいまより、第3回山都中学校及び高郷中学校統合準備委員会をはじめさせていただきます。
委員長	2 あいさつ (委員長あいさつ)
事務局	(学校教育課長あいさつ)
進 行	3 議事 議事につきましては、要綱第5条第1項の規定に基づき、委員長が議長となり進めて参りますので、委員長よりお願いいたします。
議 長	皆様のご協力のもと、議事を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。 それでは、議事に入ります。 (1)報告事項、ア経過報告について、事務局より説明をお願いします。
事務局	((1)報告事項、ア経過報告について説明)
議 長	ただいまの説明について、ご質問等ございませんか。
委 員	これだけ大事なことを決めようとしておりますが、教育長は参加されないのでしょうか。なるべくなら、教育長がおられるところで協議をしたい。いつも事務局の方で持ち帰って、教育長とお話をするんでしょうけれども。本人がここに来ていただいて即答していただけるというわけにはいかないのでしょうか。よろしくお願いします。
事務局	ご意見ありがとうございました。本日は福島市出張が入っておりまして、遅くなるというところで、こちらの方へは控えたところでした。教育長の出席につきましては、明日、報告したいと思いますので、よろしくお願いします。
議 長	それでは、ご検討のほどよろしくお願いします。 その他ございますか。
委 員	11月28日、その際にお願いということで、2点ほどお願いしていたんですけども、議事録の開示と第三者の傍聴ということで、2つ要望していたはずなんですけど、議事

	録の開示がホームページ等にもなく、その後どうなったのか。議事録の開示をしてくれるといことでよろしいですか。
事務局	議事録につきましては、今現在ホームページには載せておりません。 議事録については、市議会議員の方から正式な資料請求があった場合、議事録と資料を提供しております。また、会議の公開につきましては、市議会議員よりお話をいただいております。本日、この後、公開について議題としております。
委 員	保護者の皆さんがかなり興味をもっていることですので、できるだけ早く開示していただくようお願いします。
議 長	その他ございますか。それでは次に進みたいと思います。 今経過報告のところまでということでもいいですかね。第 2 回統合準備委員会の振り返りについて、事務局からお願いいたします。
事務局	(資料 4 ページより、第 2 回統合準備委員会での説明について、お詫びと訂正) (イ第 2 回統合準備委員会の振り返りについて、山都・高郷地区「育みの丘」構想(案)から誕生する新たな学校の姿より説明)
議 長	大変な資料を準備していただいて、詳細な説明をいただいたんですが、少しボリューム多いもんですから、資料の方 4 ページ、5 ページ。前回の振り返りのところで、ご質問等あればお聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。 4 ページは、校舎の比較、それから、旧耐震基準、新耐震基準について説明がありました。それから 5 ページについては、第 2 回の会議で出た質問等についての回答がありました。これについて何かございますか。ここまではよろしいですかね。 はい。ありがとうございます。 それでは、48 ページまである資料で育みの丘構想ということでご説明ありましたが、これはどこからでも結構です。感想なりご質問なりございましたら、忌憚のない、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょう。
委 員	この前、山都中学校の校舎と旧耶麻農業高等学校の校舎を見学してから会議をすることになっていたと思いますけれども、なぜ今回、山都中学校の見学をさせなかったのかなと気になったので、お聞きしたいです。
議 長	見学についてですね。どっちも皆さん見学したほうがいいですよ。 そうですね。比較できるんじゃないかな。
事務局	本来ですと 12 月の 3 回目をやるときに、旧耶麻農業高等学校の校舎を見てから山都中学校に戻ってきて、両方見てから会議をする計画をしておりましたが、今回はなしとしたところであります。

議 長	両方を実際に見て委員の皆さんが共有していかないと、1 つの大きな判断材料にはなろうかと思うので、委員から出たことを検討して、スケジュールに入れていただければ、なおいいんじゃないでしょうか。いかがですか。
委 員	委員だけではなく、地域の方、保護者の方、山都の人はもちろんわかりますけど、高郷の方に見ていただきたいなと思います。
議 長	いかがですか今のご意見。
事務局	多くの方に見ていただきたいと考えております。昨年、見学会ということで、1 度計画をして実際に開放しましてやったんですが、数名の方しか来なかったのも、当然、それだけでは足りないと考えております。
委 員	私、旧耶麻農業高等学校を見てきたんですが、今現在の校舎を覗いて、この教室がこういうふうになるんだよっていう具体的な説明。そういった設計を簡単な見取り図みたいなものができてないうちに、ただぐるっと回って、何がどうなるのか。全然、感じが伝わってこなかった。だから、学校を見てもいいけども、ここはこういうふうな施設になるよというような形が作られてきた時に、簡単な計画図面を見ながら見学できればと。
事務局	教室をどのように使うかについては、庁内会議を踏まえて、提示しなければならないことがございまして、今回は提示できません。我々も現段階で、ここの教室をこう使いたいという構想はありますので、そういった段階を踏ませていただいて、提示できるようにになりましたら、提示させていただきます。
議 長	はい。その他ございますか。 それでは、今の構想案については、後程何かありましたらまた、ご質問等いただければ。報告事項のウのほうに移ります。 市議会 12 月議会一般質問における質疑ということで、事務局の方から説明をお願いします。
事務局	(ウ市議会 12 月議会一般質問における質疑について説明)
議 長	議会のホームページの抜粋ということですが、何か今の市議会の一般質問に関連して、ご質問等ございますか。 市議会での質疑応答については、この資料を委員さんが読んでいただいて、今後の参考にしていただければよろしいかなというふうに思いますので、よろしく願いたい。 それでは、議事の(2) 番の方に進めます。協議事項の、今後の進め方について、事

事務局	事務局の方から、いたします。 ((2)協議事項、ア今後の進め方について説明)
議 長	今ほど今後の進め方について、開校時期についてちょっと難しいんじゃないかというような、事務局からのお話ありましたが、何かご質問等ございますか。 そうすると、第 1 回目にもらったスケジュールが、変わってくるということになりますね。最初の案では 2 月に校舎を選定するということがあったけども、今日 2 月ですからほぼ無理だと。そうすると、校舎を選定するスケジュールみたいなのは今、事務局の方で青写真ありますか。
事務局	この後、開校にあたっては、予算の確保が必要となります。まず、令和 8 年度につきましては、統合に関する予算については計上を見送ったところです。次年度、令和 9 年度の当初予算に計上するには、10 月または 11 月が当初予算の時期になります。 1 つの目安としましては、10 月末ぐらいまでに校舎が決まれば、当初予算に計上できて、そうすると開校につきましては、令和 11 年 4 月ということで 1 年。それから、来年の 10 月の段階で決まらなければ、令和 9 年度の当初予算に計上できないということになってきますので、令和 9 年度の途中で補正予算を組むか、または、令和 10 年度の当初予算になります。そうなってくると、令和 11 年 4 月の開校ということも、難しいところも出てきますので、令和 12 年の 4 月という、スケジュール感も出てくるかなと見込んでおります。
議 長	現在のところ、開校が 1 年ないし 2 年の遅れが見込まれるということですが、委員の皆様から何かございませんか。
委 員	今、話を聞かせていただいたのですが。予算予算って言われたけど、何でこんなふうに揉めている分かっていますか。中学校って山都中学校を使おうじゃないかって最初だったやつを、何で旧耶麻農業高等学校っていうことはあなた方から出てきたんだよ。それで揉めているんだよ。最初は山都中学校を使うじゃないかというようなのが、役所の方からこうなっているよということでお話を聞いていたので、それが一番いいことだからそうしましょうね。みんなでまとまっていきましょうねって話を、俺らはそういうふうに聞いていた。そういった話をしているうちに旧耶麻農業高等学校の使おうという話が出てきた。なんでということだと思います。 学校の校舎を選ぶ話が 2 月までスケジュールがあって、令和 10 年の 4 月に開校しましょうって話をずっとやってきたんだけど、こうやって揉めてる。原因はおたくじゃないの。この資料も今まで何回も聞いている。何で山都中学校でやれないことだけしか出せない。中学校でもこれだけやればこういうふうになりますよと。山都中学校だってこういう教室をこういう形にすれば、山都中学校も使えます。旧耶麻農業高等学校の話ばかりでしょう。旧耶麻農業高等学校の話しか出てないと思っている。 比較しているのは山都中学校と旧耶麻農業高等学校を比較して、そんで旧耶麻農業

事務局	高等学校を使うのが一番適切だよって話しているだけであって、山都中学校を使えることだってあるんじゃないのって俺は思っているんだけど。それはそうじゃないですよというようにお話を今ずっとしていて、最後に予算の話をしている。まずそこらの話じゃないのかって、今私は思っているんですが、いかがなんでしょうか。 これまで、中学校の統合のお話の中で、山都中学校でということをお話してきました。それは事実でございますし、私たちもそれを認めているところです。やっぱり子供たちにとって、山都地区、高郷地区にとって何がいいんだろうというのを教育委員会なりに考えさせていただいたんですけども、そう考えた結果、育みの丘構想案を出させていただいたんです。 もう1点、この横版の4ページを見ていただきたいんですけど、推計可能な12年後にはというシートでございますが、令和10年の4月に統合したとして、スタートは75名であります。それが10年で3分の1。これは、出生数や人口動態だけで推計したものですので、23名はどうなる可能性が大きいかっていうのは、私達容易に予想がついたところでございます。おそらくこの中には、会津若松市内にあります県立中学校でありましたり、私立の中学校に行くお子さんもいらっしゃると思うんです。そうするとこの数はどんどんどうなっていくかっていうのが、皆さんも見えてくるところでございます。 山都中学校に統合中学校を新たに設置させていただいたときに、また、10年後に同じ議論を今の子供たちにさせることになるんじゃないかと思うんですね。この中にPTAの方いらっしゃると思うんですけども。幸いにお子さんたちが、山都地区、高郷地区に残ってお子さんをつくったときに、今のお子さんたちが親世代になったときに、本当に一中と一緒にしろかという議論をしなければならないというふうに危惧したところでございます。であるならば、統合に付加価値を付けて、魅力的な学校を作ることによって、学びたい、行きたいという学校、教育委員会として作りたいなと考えたのが、こちらの構想案でございました。 確かに、事業費を6億、補助が3億出て、3億なんですけれども。山都中学校を使ったとしてもLED工事等でとほぼ同額の予算を考えているところでございます。私たちは、大人の事情ではなくて、子供にどういうが学びをさせたいかというところでこの案を提案させていただいたところでございましたので、今ほど委員がおっしゃったように、途中で話が変わってしまったところは認めざるをえないですし、事実でございますので、そこは、素直に認めさせていただくんですが、子供たちにとってプラスとなる学校って何なのかっていうのを考えたときに、こちらになったというところでご理解いただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。
委 員	育みの丘構想と今のお話はよくわかりましたけど。この育みの丘構想は、この中学校。山都中学校ではできないのか。教室、これだけ余っているんだよ。その辺をお聞きしたい。
事務局	資料にもありますが、できなくはないと思うんです。ただ、かなりミニマム版にな

	るんだろうと考えているところでございます。あれは削らなければ。これもあきらめなければ。山都中学校の校舎だとこれとこれだけになるというような感じになってくるのではないのでしょうか。
議 長	いかがですか。何か他の委員さんからも関連してね。
委 員	私は教育委員会さんの方で主導しているのに大賛成。といいますのは、やっぱり今、教育もいろいろ変わりつつあると思うんですけど、C h a t G P TとかA Iとか進んでいましてね。皆さんもご存じだと思うんですけど、東大の問題も解けるんですよ。合格レベル。私も試してみたことがあったんですけど。例えば文章書いてください。そういうとこれとこれ、これとこれを入れてくださいっていうともう答えが出てくんですけど、どんどん、少し直せばもうそのままレポートとして仕上げられるんですね。 そんな時代に、今までと同じようなことやって、皆さん余り問題意識を持っていない。ずっとやっていくと、どんどんどんどん人が少なくなるだけだと思うんですよ。みんな疑問を持っていないわけですね。持っていないでずっとやって、同じようにどんどんどんどん人が少なくなっているわけですよ。やっぱりそれを変えるには、いろんな人と話をするのは大切だと思うんですね。そのためには、やっぱり学校のそばに、そういう会社の研究機関が、或いは子供たちが、そういう人たちがいて、自分が必要だと思ったときに、そういう人たちとお話をして、自己形成をして、これはすごく大切だと思うんですよ。そのためにはやっぱり広いところが必要だと思うんです。やっぱり大人の事情じゃなくて子供の事情で考えていかないとまずいと思うんですよ。 それで、この山都町この高郷町をやっぱり残していくんだという人を育てなきゃいけないと思うんです。そのためにはやっぱり、今の山都中学校を使うより合理的だと。ぜひ、皆さんも賛成していただきたいと思っております。
議 長	はい。というご意見もいただきましてありがとうございます。 どうぞ、ございますか。
委 員	12月16日に、旧耶麻農業高等学校の校舎を拠点として活用することの陳情っていうのが上がっていますが、これは75名の方から陳情、この辺の背景もしお分かりになればお話いただけますか。
議 長	教育委員会で把握していますか。
委 員	私が出したので。それはなぜかという今言った通りなんですけど。 もう1つは、これを教育の場で申し上げるのは申し訳ないと思ってやめたんですけど、我々非常に困っているのは、この教育だけの問題じゃなくて、熊の問題があったんですね。熊の生息地域っていうのは、県道16号線の道路中心に上までと境界がなくなっちゃう。旧耶麻農業高等学校の校舎。あそこはもう原野化しちゃって、熊がどんどん来ているんですよ。ご存じの方もいらっしゃると思うんですけども。総世帯数は

	60 世帯ぐらいなんですけれども、そこに、二、三ヶ月の間に 7 頭の熊が掛かったんですね。そういう状況なんで、我々として本当は、市長さんにそこちゃんと人を増やすような形でやってくださいよと言いたかったんだけど、ただこれはあくまでもこちらの問題だからあんまりそういうことを出したくないなと思ったんですけど。だから、あくまでも人を増やしたいと人を増やせば、結局は熊も当然そこ人に人がいることによって、周りも整備されることで、我々としては、旧耶麻農業高等学校にして欲しいということを申し上げました。 本来ならば、行政区長会長にはそういうことも気にしていただきたいんですけど、そういうことを言っても、あれかなと思ひましてそれは言わなかったんですけども。だから、基本的にはやっぱり整備されないと、どんどんどんどん人命の危機なんです。我々としては、旧耶麻農業高等学校もちゃんと整備していただきたい。人を呼んで、どんどん増やしたいわけですよ。我々、大人のそうじゃなくてやっぱり、山都町高郷町をこの部分残したいんですよ。そのために、旧耶麻農業高等学校の校舎を、次期統合中学校にしていっていただきたいなと思っております。
議 長	ありがとうございます。他の委員さんから何かご意見ございますか。
委 員	統合の説明を聞いたときにですね。育みの丘構想、大変素晴らしいと思ったんですよ。だから、これができるのであれば、統合いいでしょう。やってみましょうと。私はそれで賛成したんです。確かに、旧耶麻農業高等学校の校舎を見たときに、大変素晴らしい校舎、あれをただがらんとして何も使わないってのもったいないなと。あそこに、統合して入って、育みの丘構想が、十二分に発揮できる校舎であれば、俺は旧耶麻農業高等学校が一番いいなと思っている。 この山都中学校を使って、12 年後にこの人数になったときに、またおんなじ問題を抱えるのも、何か馬鹿らしいな。少しでも、育みの丘構想に可能性があるのであれば、俺はそっちの方にかけてみたいと。統合して旧耶麻農業高等学校校舎を利用して、育みの丘構想を成功させたいというふうに思っております。
議 長	ありがとうございます。その他ございますか。
委 員	山都の中では 2 つ、こういうふうな形で出ているってことですので、なかなか難しいのかなと思いますが、そうだったら、旧耶麻農業高等学校や中学校校舎、ここはここ、2 つ使うというのも 1 つなのかなと。そうした場合、例えば 23 名っていう話もありますけど、もともと喜多方一中に統合しちゃえばよかったんじゃないかっていうことにもなってくるはずですよ。 それを、子供たちのために子供たちのためにつて言いますが、子供たちのために、さっきの話じゃないですけど、熊よけに使うのかと思っちゃうこともあります。 保護者に見てもらったら、そういう構想案もいいと思います。ものすごくいいと。だったら 2 つ使って、毎日大学生が来てくれるところそんなところできると。ここで本当に義務教育ができるんじゃないか。それを計画していきましょうっていうそういう

議 長	考え方も1つなんじゃないかと。 はい、ありがとうございます。 委員は、11月28日の署名活動には携わっていらっしゃいますから、この辺の158名集められたというその辺の声、もしありましたら、ご紹介いただけませんか。
委 員	この署名は、保護者さん中心で、山都中学校と山都小学校の子供たちの保護者さんを中心に、あと、この地域。2つの校舎が使えるのであれば署名してくれるよということで町外の方。この構想案については、そうやって盛り上がれば最高だっていう。あと、山都中学校に実験的に入ればいいっていう保護者さんの考えも1つあります。 それこそChatGPTっていういろんなものを取り入れなきゃいけないっていうのは、こちらでもできるかないかっていう保護者さんの意見。
議 長	なるほど。育みの丘構想については、皆さんそれは一定の理解はされていると思うんですけど、離して考えて欲しいっていうのが1つ。そういう背景があるということでした。ありがとうございました。 なかなかですね、どっちかって決められない。離してというご意見も今ありました。これやっぱり時間をかけていくべきだろうと思うんですが、それについて、これもう1回この構想をもとにしながらこの校舎はこんなことで、この教室使えるんだとかですね。山都中学校もみんなで歩いてみて、育みの構想、皆さん賛成されてるわけだから、中学校でやるとしたらこんなふうにできるとか、どっちかのメリットデメリットをもうちょっと明確にしていかないとおそらく委員さん方が、私はこっちでということには、なかなかないだろうと思うんで、事務局案のように少し時間をかけるということです承承いただいてよろしいですか。 そのための見学会ももう1回、ちょっと考えて、期限としては、来年10月までいけば、次の予算の方にも反映されるということなので、その辺までを考えながら進めていく。その時に、1回目のスケジュール表に書いてあった校名とかいろいろありましたが、それ並行してできれば、こんなふうにやっていけますよっていうようなことも、これから変わってくるだろうと思います。その辺の見通しを持ちながらやっていきたいと思うんですがいかがですかね。 よろしいですか。
委 員	はい。
議 長	そのようなことで事務局の方またスケジュールを考えていただいて、次回の会議のときに、見通しを持てるような資料をお願いできますか。 よろしいでしょうか。今日のところその辺まででよろしいですか。 いろいろと背景にあるものをお聞きしました。大変参考になりました。ありがとうございました。 それでは協議事項の2の方に移ります。この統合準備委員会の公開についてという

	ことで議題に上がっておりますので説明をお願いいたします。
事務局	(イ統合準備委員会の公開について説明)
議 長	お聞きしたいことはございますか。議題にあげられたということは、その必要があったからこの議題に上がったのでしょうか。 例えば今の説明だと、公開しなくてはいけない会議ではないですよ。議事録は出していますからってというようなことで、そういう要求があれば、事務局の方でお答えしているので終わるのかなと思うんですが、そうじゃなくて、ここまで議題にあげられたってことは何かあるのでしょうか、委員の方の意見をお聞きしたいということですか。
事務局	議長のおっしゃるように、議事録の公開はしていたところなんですけれども。先だって市議会議員より公開して欲しいというような、ご意見を頂戴したところでございました。公開するかしないは、委員の皆さんに話し合って決めてもらったかどうかというところで教育委員会で整理させていただいたというところで、ここで話し合ってぜひを決めていただきたい。
議 長	やっぱり、メリットデメリットっていうとちょっと大きな表現になってしまいますが、お話し申し上げましたように自由な意見交換が難しいっていう部分もございますし、いや、多くの方にその場面を見てもらったほうがいいというようなことも、どちらもメリットデメリットはあろうかと思いますが、そこを推し量っていただいて、もう1回確認しますが、議事録は誰でも見れるんですね。
事務局	今のところ、市議会議員の方からということで、先ほど委員からホームページで公開していただきたいということがございますので。例えば、ホームページで報告を公開することによって、この委員会には傍聴に来なくても、ホームページに上がっているというような状況になるのではないかな。
議 長	ということですが、皆さんいかがですか。公開についてどうぞ。
委 員	間違いなくこの議事録がホームページに載せて、皆さんに公開できるのであれば、この会議の場を傍聴する必要もないんじゃないかな。いや別に傍聴してもらっても構わないけども、ただ、我々、みんなの前で話をして、それが誹謗中傷につながるのも残念でね、だからそういったこともあっても困るし、それで今はみんな、高郷、山都にとって、みんな関心持っている人の多いんで、じゃあ俺も俺もって、みんな入ってきたら、今度会議の場も考えなくちゃいけないし、そういったものを考えていけば、この案がよければ、それで、皆さん納得すると思います。
議 長	今委員の方から意見をいただきました。関連してございますか。

委 員	小学校のPTAの情報で、雑談していて「統合どうなっているの。校舎、こういうものも一切今出てないじゃん。」という話がありました。やっぱりこっちからの情報発信とかも、この議事録なり発信してもらった方がいい。
事務局	議事録に関しましては、庁内で議事録をあげているところもございます。資料に関してはどのように扱ったらいいのかっていうのは、この場で、お答えできない部分があるので、申し訳ないんですけど資料については、庁内に持ち帰りさせていただきたいと思います。
議 長	その他ございますか。どうぞ。
委 員	きちっとした形で公開してくれるんだったら、何をここで傍聴しなくてもいいと思うんだけど、きちっとした形で出していただければ、それでいいかなというふうに思いますが、この会議の雰囲気伝わらないかもしれませんけども、やるなら、きちっとした形でやってもらえれば一番いいかなと思います。 きちんとした形っていうのは議事録をきちんとした形の中で公開していただいて、伝わるようなことで、町民の皆様方が伝わるのであれば、それでいいのかなというふうに思います。
議 長	今のご意見どうでしょう。 総合すると議事録の方のホームページをより伝わるような工夫していただければ、傍聴というところまではなくていいんじゃないかという、皆さんの共通理解ということによろしいでしょうか。よろしいですか。
委 員	はい。
議 長	この案件については、そんな結論でお願いをして、それでは（３）番その他に移ります。全体を通しでも結構です。別件でも結構です。何かございましたらお願いします。
委 員	事務局の方で、もしかしたら答えづらいのかもしれませんが結局、今回、統合に関する合意書が無効になるという理解でよろしいでしょうか。 令和１０年の４月に統合することを見据えながら、２年遅れるかもしれないでは、現場は動けません。実際に今の６年生に関しては、部活動をどうするのか。山都中、高郷中で話をしている統合準備委員会にかけて、それで、小学校におろしていこうという形で中学校間では話しをしている。 ２つ目は、このことを誰が、保護者、一番直結している方に話すのか。そういうところのご指示、もしくは、こうしようという共通理解を図っていただければと。
議 長	はい、ありがとうございます今の件、よろしいですか。

事務局	今回の合意書につきましては、他の案件とかを見ておりますと、合意書につきましては有効でありながら、覚書であったり、確認書などそういったことがございますので、改めて、確認書や覚書というものを考えております。そのためには、行政区長会であったり、PTAの総会でお話をさせていただければと考えております。 それからもう1点でございます。今後の対応ということで、本日、統合準備委員において令和10年4月の開校のスケジュールにつきまして、遅れるということで承認いただきました。この後、教育委員会定例会や総合教育会議、それから市議会全員協議会への協議等、段階を踏んでいかないと公にできません。 今の段階で、総合教育会議、市長との会議になりますが、こちらの予定が今年度中にはできません。今年度中には、次の段階に進めないということです。今の予定では4月の上旬に総合教育会議を行い、この後、進めて、4月の中旬ぐらいにならないと、公にできません。 この資料もそうなんですけども。会議を経て、皆様に提供させていただいたり、ここで決まったことを、庁内の会議を3つ、4つを通してということになって、ちょっと時間がかかる。今日の件、教職員の中で共有してもよろしいですかということですが、追ってお知らせします。
議 長	よろしいでしょうか。はいどうぞ。
委 員	来年度の新1年生が3年生になったときに統合するというスケジュールで、今までいろいろ構想を練っていたものですから、それこそ、部活をどうするか、先ほどと一緒に合わせようと、校長レベルですけれども、そういうこともいろいろ構想を練っていました。 また、新年度からは、3年の統合を踏まえて、共同の行事もできないかなということでもいろいろと、もう構想を練って進んでいるところでございます。実際にそれから交渉レベルですけれども動いている段階で、いろんなガイドを交渉しようかなと進めている段階なんですね。そういう中で、この4月中旬まで公にできないとなりますと、なかなか厳しい。特に今度の部活動なんかも。私も直近でございますして、4月まで公にできないとなると厳しいというのが正直なところでございます。 また、今週土曜日も保護者会をします。当然、保護者さんからもそういうご質問が出るのかなというところもありますし、その確定ではないんですけども、こういう方向で動いていますっていうことが言えないと。ちょっと今後の説明が難しいというところでございますので、ご配慮いただければありがたいなと思います。
議 長	学校としては、厳しいですね。そういう動きをしてきたんだけど変更になるっていう。ですから、確定ではないんだけどっていう、言葉をつけてどうなのっていうところはいかがですか事務局。
委 員	何も悪いことしているわけじゃない。最終的に準備委員会が責任持つのか。 段階を踏まなきゃいけないのはわかるけど、だから議事録の公開なんて、はっきり

	したほうがいいんだよ。
議 長	時間をかけて話し合う必要性が今出てきたということで、委員の方々からいろいろご意見ちょうだいしたので、議事録にはそれは載っていきますよね。ということは、計画通りの開校はちょっと厳しいんじゃないかっていうようなことで話はありましたってことになれば、現場の校長先生方は、これ確定じゃなくなって、ちょっと延期になるかもしれないっていうことは、保護者にお伝えができるんだろう。そこまで縛られてしまうと、ちょっと現場は混乱するだろうっていうのが、校長先生の立場としてのご意見だったので、悩ましい顔をされるのはよくわかります。 事務局としては、こういう意見を踏まえていかがでしょうか。
事務局	私どもとしましては学校現場さんに一番ご迷惑をおかけするっていうところが心苦しいところでございます。今日の話し合い。段階を追って公開をすることで、学校さんにご迷惑するのであれば、例えば教職員の先生方でありましたり、保護者の方でありましたり、どんな見通しであるというような表現でお伝えいただいても支障はないのかな。あと私たちの方では頭を下げますので、両校長先生、今のお答えでお願いをしたいと思いますが、よろしいですか。
委 員	はい。
議 長	はい。それで少し進みますね。 それでは、その他について終わりにしてよろしいですか。ありがとうございました。大変長時間に渡ってしまいまして申し訳ございませんが、以上で3番の議事を終了したいと思います。 それでは事務局の方にお返しします。
進 行	委員長、ありがとうございました。最後に、大きな4番、その他。
事務局	次回の統合準備委員会、第4回目になりますが、こちらにつきましては、年度を越えて予定しております。できるのが、4月のゴールデンウィーク前頃になる。そうになると、役員が変わる方もおられます。改めて、委員の選出をお願いいたしますので、委員が交代となる場合におきましては、次の委員の選任を事前をお願いしたいです。
進 行	長時間にわたりまして、ご審議いただき誠にありがとうございました。 以上をもちまして、第3回山都中学校及び高郷中学校統合準備委員会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。